

科目名	スポーツ社会学						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	春学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	2 年次	単位数	2 単位
教員名	奥田 睦子						

授業概要／Course outline

本授業は、スポーツ文化と社会との関係性について、歴史的、社会的に捉えることを通じて構造的に理解すると共に、スポーツの根源にあるプレイ性についても理解することを目的とする。授業では、学生自身がスポーツのスポーツルールや組織の変遷、社会事象に関する年表を作成する機会等を設け、スポーツ文化の成立過程と社会変化との関係性に自ら気づくようにする。また、社会規範の枠を超えていく可能性のあるプレイ性について、身近なスポーツ場面やカイヨワのプレイ論等から考察する。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

動画視聴や資料購読を行った上で、オンデマンドによる解説を行う。実施時期については、7月下旬を予定している。詳細は、6月下旬頃に授業中およびmoodle等で連絡する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：授業の概要と導入

この授業の到達目標や内容、方法等を説明した後、スポーツ文化と社会との関係性を歴史的、社会的な観点から捉えることの意義について、スポーツルールの変更を例に説明する。

第2回 テーマ：スポーツ文化の変容と社会変化（1）

中世から現代にかけてのサッカーの変容と社会変化の関係性について例示し、スポーツ文化と社会とのつながりについて説明する。

第3回 テーマ：近代スポーツの特徴（1）

アレングッドマンの近代スポーツの7つの特徴を解説すると共に、学生自身が関わっているスポーツにおいてその特徴がどのように当てはまるのか当てはまらないのか、またそのようになる理由に何があるのかを社会との関連から考察する。

第4回 テーマ：近代スポーツの特徴（2）（オンラインTeamsによるライブ授業）

前半は、各自で作成してきたスポーツのルールや用具、組織等の変遷の年表を持ち寄り、競技の違いを越えたところにある変遷の共通性を考察する。後半は、それらの変遷の背景について、人々の生活や意識の変容との関わりから考察する。

第5回 テーマ：スポーツの高度化と大衆化

現代スポーツの特徴について近代スポーツと比較しながら説明すると共に、現代スポーツの特徴と社会との関係性について考察する。

第6回 テーマ：企業の多様なスポーツ支援

日本のトップスポーツを支えてきた企業スポーツについて、戦後から現在に至るまで大きな変化が見られる。この変化について、スポーツや企業を取り巻く社会的背景から考察する。

第7回 テーマ：第1回～第6回までの中間のまとめとレポート作成

前半ではここまでの復習を行い、後半では中間のまとめのレポートを行う。

第8回 テーマ：障がいのある人のスポーツ（1）

法律に基づく障害の捉え方を説明すると共に、障がいのある人のスポーツ指導に際して留意すべき事柄について説明する。

第9回 テーマ：障がいのある人のスポーツ（2）

障害のある人のスポーツ参加の課題について、それらの課題が生じる背景について、歴史的な観点やスポーツ文

化の観点から考察する。

第10回 テーマ：ジェンダーとスポーツ

スポーツは、社会のジェンダー関係を反映したり変容させたりする領域である。ジェンダーの概念について説明した上で、ジェンダーの視点からみた現代スポーツの問題点を考察する。

第11回 テーマ：スポーツの原点としてのプレイ性（遊び）

ロジェ・カイヨワの遊びの分類を解説すると共に、プレイとはどのような条件のものに成立するのかについて考察する。また、スポーツに見られる合理性と非合理性について、プレイの観点から考察する。

第12回 テーマ：身体とスポーツ（オンラインTeamsによるライブ授業）

スポーツを行っているときにそれに没頭し、無心の状態で身体が自然に動いてしまう境地を経験することがある。また、時間を経つのも忘れて深い楽しさを感じることもある。この時の身体は、社会的合理性に従属する身体ではなく、何かを生み出している創造的な身体である。身体とスポーツに関する論文やチクセントミハイのフロー理論を紹介しながら、このような身体に着目することの意味を考察する。

第13回 テーマ：全体の復習

第1回目～第12回目までの内容の復習を行う。

第14回 テーマ：「全体のまとめのレポート作成」と要点の整理

「全体のまとめのレポート」を作成すると共に、重要点についての整理を行う。

★オンデマンド（90分相当） テーマ：脱近代スポーツ

主に“ゆるスポーツ”と“アーバンスポーツ”等についての資料購読や動画視聴を行い、近代スポーツの特徴とそれらの特徴とを比較しながら、“ゆるスポーツ”や“アーバンスポーツ”になぜ人が夢中になるのかについて考察する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 テーマ：授業の概要と導入

【事前学修】シラバス読み、授業内容を理解しておくこと。

【事後学修】授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第2回 テーマ：スポーツ文化の変容と社会変化（1）

【事前学修】サッカーのオフサイドの基本ルールについて、ネット等で調べておくこと。

【事後学修】授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第3回 テーマ：近代スポーツの特徴（1）

【事前学修】社会学入門Aで学習した近代社会の成立の回について、復習しておくこと。。

【事後学修】授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第4回 テーマ：近代スポーツの特徴（2）

【事前学修】自分が関心をもっているスポーツ種目について、ルールの変遷や組織化等について調べておくこと。

【事後学修】授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第5回 テーマ：スポーツの高度化と大衆化

【事前学修】第1回～第4回までの内容について、社会の変容とスポーツの変容について歴史的な観点から復習しておくこと。

【事後学修】授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第6回 テーマ：企業の多様なスポーツ支援

【事前学修】企業におけるスポーツ支援の形について、身近な例を集めておくこと。

【事後学修】授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第7回 テーマ：第1回～第6回までの中間のまとめ

【事前学修】第1回～第6回までの復習をしておくこと。

【事後学修】授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第8回 テーマ：障がいのある人のスポーツ（1）

【事前学修】障がいのある人のスポーツについて、インターネット動画等で見て関心を高めておくこと。

【事後学修】 授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第9回 テーマ：障がいのある人のスポーツ（2）

【事前学修】 障がいのある人のスポーツについて、インターネット動画等で見て関心を高めておくこと。

【事後学修】 授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第10回 テーマ：ジェンダーとスポーツ

【事前学修】 男性らしさ、女性らしさとスポーツについて、それぞれどのようなスポーツ種目と結びついているのか、自分なりに考えておくこと。

【事後学修】 授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第11回 テーマ：スポーツの原点としてのプレイ性（遊び）

【事前学修】 「楽しさ」と言う言葉を使用せずに「楽しさ」を表現する言葉について、考えておくこと。

【事後学修】 授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第12回 テーマ：身体とスポーツ（オンライン☞Teamsによるライブ授業）

【事前学修】 スポーツを行っている最中に感じた最も心地よかった体験について説明できるように、まとめておくこと。

【事後学修】 授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第13回 テーマ：全体の復習

【事前学修】 第1回目～第12回目までの資料を見返しておく。

【事後学修】 授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

第14回 テーマ：「全体のまとめのレポート作成」と要点の整理

【事前学修】 第1回目から第13回目までの授業の内容を復習しておくこと。

【事後学修】 授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

★ テーマ：脱近代スポーツ

【事前学修】 “ゆるスポーツ”と“アーバンスポーツ”等について事前に配布する資料を読んでおくこと。

【事後学修】 授業を通じて理解できたこと、気がついたこと、疑問点等をまとめておくこと。

※各授業に対する事前・事後学修は約180分を目安とし、合計で2,700分程度とする。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・スポーツ文化と社会との関係性について、歴史的、社会的な観点から構造的に理解できること。
- ・スポーツは歴史的な産物であり、現在のスポーツもまた変容の過程にあることを認識できること。
- ・スポーツの原点としてのプレイ性に、関心をもてるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|------|---------------------|
| ・思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・倫理性 | 【現代社会学部 健康スポーツ社会学科】 |
| | ・社会学における基礎知識 |
| | ・健康・スポーツ科学の応用知識 |

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・対面を基本としますが、一部オンライン（Teamsによるリアルタイム授業）にすること回があります。オンラインでの実施については、シラバスおよび授業中やmoodle等で連絡しますので、聞き逃しや見落としがないようにしてください。
- ・授業資料は、授業内容に合わせて授業前日までにmoodleにアップします。必要に応じて各自、ダウンロードしてください。
- ・事後学習で自分が書いたレポートをとじるためのファイル（A4縦型）を1冊準備しておくことが望ましいです。
- ・授業中にmoodle上にレポートを提出してもらうこともあるため、毎回ノートPCを持参してください。なお、スマートフォンへは対応しません。
- ・課題の提出は、moodle上のみを原則とします。こちらから連絡した場合を除き、メールアドレスへのファイル添付による課題の提出は受け付けません。

評価方法／Evaluation

- ・ 平常点100%（課題、授業内レポート含む）。

教 材／Text and materials

1) 教材

テキストは使用せず、資料を配付する。

2) 参考図書等

- ・ 井上俊・菊幸一編著『よくわかるスポーツ文化論（改訂版）』（ミネルヴァ書房，2020年）
- ・ 田島良輝・神野賢治編著『スポーツの「あたりまえ」を疑え！—スポーツへの多面的なアプローチ—』（晃洋書房，2019年）
- ・ 井上俊・亀山佳明編著『スポーツ文化を学ぶ人のために』（世界思想社，1999年）
- ・ 日本スポーツ社会学会『21世紀のスポーツ社会学』（創文企画，2013年）
- ・ 佐伯年詩雄『現代企業スポーツ論—ヨーロッパ企業のスポーツ支援調査に基づく経営戦略資源としての活用（現代スポーツ論シリーズ —21世紀の新しいスポーツモデルを考える）』（不昧堂出版，2004年）
- ・ 奈良女子大学文学部スポーツ科学教室編『やわらかいスポーツへの招待』（道和書院，1998年）
- ・ ロジェ・カイヨワ著，多田道太郎・塚崎幹夫訳，『遊びと人間』（講談社，1990年）
- ・ 池井望・菊幸一編『「からだ」の社会学』（世界思想社，2008年）
- ・ 亀山佳明『生成する身体社会学 — スポーツ・パフォーマンス／フロー体験／リズム』（世界思想社，2012年）

質問や相談の方法／Instructor contact

- ・ 授業に関する質問や相談などがある場合は授業終了後にお声がけいただくか，moodle上でお伝えするメールアドレスにご連絡ください。